

自民パー券裏金疑惑

岸田政権 大軍拡・大增税

市議会

共産提出のイスラエルによる
ガザ攻撃中止と即時停戦で
平和の実現を求める決議が採択

2024年 くらし・平和 取手と日本を変えよう



国民に負担を押し付ける一方で、せっせと裏金づくり——自民党派閥による政治資金パーティー収入の裏金疑惑は許せません。こんな自民党政治は終わらせるために、企業・団体献金も政党助成金も受け取らない日本共産党をのばしてください。

「しんぶん赤旗」日曜版のスクープがきっかけで、明らかに

昨年12月議会で日本共産党が提出者になった上記の決議が全会一致で採択されました。

日本共産党



市議会議員
関戸 勇

ほん だ

取手市委員会
まちづくり対策室長



関戸勇市議からバトンタッチ

物価高から 市民生活が支えます 本田かずなり

3つのゼロは市予算の約1%でできます。

子育て支援
3つのゼロ

県下一高い

給食費ゼロ

県内13市町で実施 3億3千万円

一部負担をなくして

子ども医療費ゼロ あと1億円

18歳まで

国保均等割ゼロ あと800万円

44億円の基金いかし

国保税 大幅引下げ

介護保険・後期高齢者
医療の負担軽減

取手駅西口再開発より
高齢者の交通手段拡充

路線バス・コミバスは減便でなく拡充を。

財源はあります

市予算 409億円
(2023年度一般会計予算)

財政調整
基金 23億円
(2023年3月末)

国保基金 44億円
(2023年3月末)

取手駅西口再開発

これまで区画整理だけで
総事業費約214億円



これから、
民間開発ビルに補助金と
ビル床購入で 70億円超

物価対策を国へ求めます

消費税5%にもどす

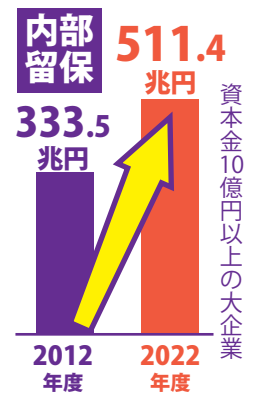
コロナ以降、世界の104の国と
地域で消費税減税を実施。

- インボイス中止
- 年金引き上げ

中小企業を支援して

最低賃金1500円

大企業の内部留保増に時限課税。



本田かずなりプロフィール

- 1976年千葉県柏市生まれ。●東洋大学経営学部中退。●1999年(株)大京(旧大京フーズ)に入社、スーパーバイザーとして勤務。●戸頭在住。●同居/妻と息子2人。

明るい取手 2024年1月号外 日本共産党取手市委員会 取手市井野3-19-5
電話0297(72)7816 日本共産党の見解を紹介します。
ご意見・ご感想は、本田かずなり事務所
取手市戸頭4-15-14 TEL0297(72)7816



3つの争点

違いハッキリ 日本共産党 4名を市政へ



市議会の態度 (賛成○、反対×)	共産	創和会 自民系	みらい 自民系・ 維新・国民	公明	無党派
18歳までの 国保税ゼロ 条例 (2023年12月)	○	×	×	×	○1 欠席1
最低賃金大幅引き上げ 中小企業支援請願 (2023年3月)	○	×	×	×	○
学校給食費値上げ 2021年度一般会計予算 (2021年3月)	×	○	○	○	○
基準額月4800円→5000円 介護保険料値上げ (2021年3月)	×	○	○	○	○
市長・市議の 旧統一協会汚染調査を 求める請願 (2022年12月)	○	×	×	×	×
消費税インボイス制度の実施 中止を求める意見書 (2022年9月)	○	×	○	×	○
福島原発処理水海洋放出を 決定しない意見書 (2020年12月)	○	×	×	×	○
	関戸勇 佐野太一 遠山智恵子 加増みつ子	杉山尊宣 海東一弘 鈴木三男 小堤修 岩澤信 金澤克仁 佐藤隆治 赤羽直一	須田光雄 関川翔 入江洋一 結城繁 (国民) 山野井隆 (維新) 石井めぐみ	久保田真澄 落合信太郎 染谷和博 齋藤久代	根岸裕美子 細谷典男



争点1

市民のくらし・いのちを守るのは

2022年度 国保税1世帯2万5千円引き下げ 日本共産党
18歳未満の国保均等割 第1子半額、第2子以降無料

「基金還元、国保税引き下げは、日本共産党が一貫して要求」と自民系市議も認めるほど、繰り返し要求して実現。

給食費・介護保険料値上げなど負担おしつけ 自民系・公明・国民・維新



争点2

市民の願いが届けるのは

市民から出された
請願の紹介議員
件数トップ 日本共産党



自民系・公明・国民・維新
給食費無償化の請願をボツに
昨年9月議会で、日本共産党は給食費無償化の請願の紹介議員になり、採択を求めました。ところが、創和会、みらい、公明の市議たちが、請願そのものの採択を認めず、実行は求めない「趣旨採択」で議決し、請願は事実上ボツになりました。

争点3

岸田政権にノーを示すのは

国の悪政にはキッパリ対決してきたのが日本共産党です。

日本共産党が
紹介議員になって
採択された請願

- 消費税インボイス制度の実施中止の意見書を国に提出求める請願 (2022年9月)
- 核兵器禁止条約の早期批准を求める請願 (2020年12月)
- 県知事に対し、東海第二原発の再稼働に同意しないことを求める請願 (2020年3月)

請願・意見書に反対——国の悪政にもものが言えない 自民系・公明・国民・維新

祖母の戦争体験、「平和」「自由」「幸せ」が原点

「長い髪の毛をバツサリ切って歩き続けた」「夜道は野犬がいて、転がる何かをむさぼり食べていた」「やっと上陸したとき、消毒液のようなものを浴びせられた」——満州長春から引き上げてきた祖母の戦争体験を聞き、

「平和」「自由」「幸せ」が原点になりました。
私は、安倍政権による平和憲法を変えて、戦争する国づくりへ進むことに危機感を持ち、反戦・平和の日本共産党に入党しました。

外食産業24年——「食」の安心安全でくらし支える

私は外食産業に24年、バイヤー（仕入れ）として、10年以上つとめました。
コロナ禍で、日本は食料の多くを海外に頼るなか、食品価格が大高騰しました。
私は、低い食料自給率、添加物、遺伝子組み

換えなど、安心安全な「食」が脅かされることに危機感をもちました。
市議の議席をいただき、給食費無償化や、給食の地産地消、有機農法の野菜使用など、「食」の安心安全でいのちとくらしを支えます。